

令和3年度 第2回日本遺産推進協議会総会

令和4年1月14日（金）16:30～17:15 議会棟4階 第3・4委員会室

出席人数 23名

※文中、特にことわりのない限り、本会の名称は「協議会」と表記する。

開会

【事務局】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加している中での開催となった。
- ・感染予防対策として換気を十分にするとともに、会議時間を一時間程度とし、効率よく進行することをご了承いただきたい。

名誉会長挨拶

- ・今年度第2回目となる日本遺産推進協議会総会にご出席いただき感謝する。
- ・令和4年がスタートし、これからといった矢先に新型コロナウイルスの感染者が急増している。現在その対応に追われており、対策の一つでもあるワクチン接種については先日から高齢者から順に3回目の接種を進めている。
- ・国においても前倒しで供給するという話であり、本市としてもできるだけ早く接種を希望するすべての市民にワクチン接種を実現させていきたいと考えている。
- ・昨年もコロナ禍ではあったが、桑都日本遺産センター八王子博物館が6月に開館し、また、滝山城築城500年という記念すべき年でもあった。皆様方のご協力をいただきながら日本遺産を活用した事業を展開することができた。
- ・今年は大きな事業として、10月14日に東京たま未来メッセが明神町に開設される。それに合わせて、令和5年度日本遺産サミットの本市開催に向けて準備を進めている。
- ・この後議案として提案するが、令和5年度日本遺産サミットを通じて全国に八王子の魅力を発信できればと考えている。
- ・引き続き、東京都唯一の日本遺産のまちとして様々な事業を進めたい。皆様方のさらなるご支援ご協力をお願い申しあげる。

【事務局】

- ・会議資料確認
- ・名簿更新

人事異動等により委員の交代があった。

- ・八王子青年会議所 菊畷委員
- ・東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 大須賀委員
- ・多摩信用金庫 高橋委員

委員挨拶

八王子青年会議所の菊畷委員。

(他2名は代理出席のため割愛)

これ以降会長による議事進行

【会長】

- ・本日の委員の出席について。高尾登山電鉄株式会社の船江委員、東日本旅客鉄道株式会社の大須賀委員、多摩信用金庫の高橋委員が欠席。それぞれ代理出席をいただいております、現時点で23名の出席となり過半数を超えているため、本会は有効に成立する。

議事

報告事項(1) 令和3年度 日本遺産推進事業の進捗について

【事務局】

- ・令和3年度日本遺産推進事業の進捗について、人材育成、普及啓発、調査研究、活用整備、情報コンテンツ作成等のうち、新たに事業を始めたところのみ紹介する。

① 人材育成事業

- ・日本遺産ガイド養成講座。八王子城跡、滝山城跡、郷土資料館、高尾山で活動するボランティアガイド30名に対する講座を実施している。12月に第1回目を迎えた。今後、第2回、第3回を迎える予定。

② 普及啓発事業

- ・桑都の魅力普及啓発事業。解体が予定されている織物工場を舞台として12月に公開イベントを開催した。
- ・桑都八王子の花街の魅力向上。一昨年オープンした中町の「まちなか休憩所 八王子宿」を拠点に、八王子芸妓衆による月2回のイベントを開催。4月から開催しており、緊急事態宣言中9回中止したが、これまで10回開催した。

③ 調査研究事業

- ・桑都の音に関する調査研究。構成文化財にまつわる音を資源化して、今後活用方法を含め研究している。

- ・これまで高尾山薬王院の柴燈護摩^{さいとう}祈禱、八王子のお囃子、獅子舞、八王子車人形、八王子芸妓、機織りの音、養蚕の音を録音し、今後の活用のために研究している。

④ 活用整備事業

- ・文化財関連施設の充実。八王子繊維貿易館の3階の一部を借りて、構成文化財である多摩織や織物のまち八王子の魅力を発信する拠点として空間を整備している。今月末、もしくは来月に整備を完了する予定。

⑤ 情報コンテンツ作成事業

- ・新たに市のホームページとは別にウェブサイト構築する。また、日本遺産を巡るサイクリングルートや絹の道周辺を紹介するコンテンツを今年度中に公表する予定。新しいウェブサイトについては、一部暫定的に公開している。お手元の名刺サイズのカード（※配布資料）に記載のある桑の葉のマークがあるQRコードから見るができる。
- ・情報コンテンツ作成のうち、プロモーション普及啓発用品について。今年度はすべての保育園、幼稚園、小学校、学童保育所に配布する紙芝居を作成している。
- ・紙芝居としての配布のほか、村松委員にナレーションに協力いただき、今後動画コンテンツ等でも見るができるよう準備をしている。

質疑

なし。

報告事項（2）令和3年度「日本遺産サミット in 小松」について

【事務局】

- ・昨年11月13・14日に石川県小松市で開催された「日本遺産サミット in 小松」。
- ・内容は、PRブースの出展、「織物文化」をテーマにした分科会への参加、日本遺産連盟総会への出席。
- ・サミット全体では2日間で8,500名弱の来場者があった。
- ・織物文化分科会の参加団体は、群馬県桐生市、京都府与謝野町、岡山県倉敷市、新潟県十日町市、東京都八王子市。いずれも織物に関連したストーリーで日本遺産に認定されている。
- ・日本遺産認定地域の相互連携を深める意味も込めて分科会が開催された。
- ・織物文化分科会は、八王子市がコーディネーターを務めて意見交換を深めることができた。

【会長】

- ・今後の日本遺産サミットの開催については議案として審議いただくため、小松市での日本遺産サミットについては報告のみとする。
- ・サミットに参加された方はご苦労様でした。

質疑
なし。

報告事項（３）令和３年度 第１回日本遺産「桑都物語」推進協議会部会報告について

【事務局】

- ・観光部会、産業部会、文化教育部会の３つの部会を設置している。
- ・昨年１０月４日に３部合同で部会を開催した。
- ・部会相互の情報共有を目的として開催したことから、内容報告については要点記録の配布にて報告に変える。

質疑
なし。

報告事項（４）日本遺産の総括評価・継続審査制度について

【事務局】

- ・日本遺産制度の見直しについては以前からお知らせしているとおり、昨年７月に文化庁から日本遺産認定初年度の１８件の総括評価・継続審査の結果及び新たな候補地域の認定が公表された。
- ・候補地認定について、２０件の申請のうち、北海道、千葉県、京都府の３件が新たに候補となった。これらの候補地域については、今後、地域活性化準備計画に基づいて３年間事業を行った後、改めて文化庁の審査を受けて初めて認定に至る。したがって、現在は認定地域ではなく、あくまでも３年後の候補地域というような制度。
- ・認定地域の総括評価・継続審査の結果については、初年度に認定を受けた１８件が総括評価を受けた。
- ・重点支援地域に認定されたのが４地域、継続の認定地域は１０地域、再審査となったのは４地域となった。
- ・再審査については、もう一度文化庁が審査を行い、認定継続もしくは認定取り消しの結果が決まる。
- ・今年度中に再審査の結果が出ると聞いていたが、現在のところ結果は公表されていない。
（※１月１４日）再審査の審議結果公表。対象４件「認定地域（条件付き）」となった。
- ・本市は令和７年度までの６年間の取り組みに対して、令和８年度に総括評価・継続審査が行われる予定。

【会長】

- ・総括評価・継続審査の対象となった地域の取り組み状況や評価内容などをきちっと把握し、参考にすべき点は十分に取る必要がある。
- ・官民協働の取組によることや事業者などへ日本遺産の活用が広がっているかなども大きな評価要素であったと聞いている。
- ・改めて本協議会が一体となって取り組んでいただけるよう、委員の皆様にも多大なご協力をお願い申しあげる。

質疑

なし。

報告事項（５）「日本遺産の日」のイベントについて

【事務局】

- ・昨年４月、桑都日本遺産センター八王子博物館の開館に伴い予定していたイベント。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期、いったん中止をした。
- ・現在も感染拡大が増えているため２月の実施について改めて適切な判断を行っていくが、現時点での開催予定を説明する。（※１月２１日中止決定）
- ・日程は２月１２日。１０時～１４時まで日本遺産八王子博物館の開館、また、「日本遺産の日（２月１３日）」を記念した式典を執り行う。
- ・実演イベントの部について。午前１０時４５分から正午まで、高尾山薬王院による法螺貝吹鳴、柴燈護摩祈祷、八王子車人形及び説経浄瑠璃、八王子芸妓、八王子消防記念会による木遣の実演を予定。
- ・会場はＪＲ八王子駅南口のサザンスカイタワー八王子１階・東側広場特設ステージ。
- ・本イベントは本協議会が共催としていることから大野会長と樫崎副会長に出席していただく予定。
- ・委員の皆様においては感染拡大の状況ではあるが、都合がつけばご覧になっていただきたい。
- ・「日本遺産の日」の２月１３日には、東京都有楽町で文化庁主催のイベントがある。全国各地の認定地域のＰＲブース、記念シンポジウムなどが行われる予定。
- ・本協議会としてもブース出展する予定。（期間２月１１日～１３日）

【会長】

- ・高尾山薬王院佐藤貫首による柴燈護摩祈祷が執り行われる。昨年の商工会議所のわくわくフェアに続いて八王子市街地での開催となる。ぜひ皆様に見ていただきたい。

質疑
なし。

議案（１）第 6 号議案 令和 4 年度日本遺産連盟役員を選任について

議案（２）第 7 号議案 八王子市における日本遺産サミットの開催について

【事務局】

- ・ 議案（１）（２）について、相互に関連する内容であることから一括して説明。
- ・ 日本遺産連盟令和 3 年度総会において、令和 4 年度日本遺産連盟の副会長職に本協議会が就任することが承認された。
- ・ 日本遺産連盟の規約第 6 条第 3 項の規定により、本協議会より副会長を改めて選任する必要がある。議案の通り令和 4 年度日本遺産連盟副会長に石森孝志市長を選任することを上程する。
- ・ 第 7 号議案八王子市における日本遺産サミットの開催地について。現在八王子市は開催候補地として日本遺産連盟の承認を得ている。開催年度を令和 5 年度とし、開催に向けた準備を着手する旨を上程させていただきたい。そのうえで万全の準備をはかっていくので、両議案のご審議の程よろしく願います。
- ・ 令和 5 年度日本遺産サミットの開催地の正式決定は、令和 4 年 10 月に下関市及び北九州市で開催予定の日本遺産サミットにおける日本遺産連盟令和 4 年度総会において決まる。
- ・ 現在ほかに候補地は無いため、順当であれば本市での開催が正式に決定する。
- ・ 八王子開催にあたり、令和 5 年 11 月 4・5 日に、メイン会場を産業交流センター「東京たま未来メッセ」として開催する調整を始めている。

決議

原案のとおり決定。

協議 令和 4 年度 事業計画（案）について

【事務局】

- ・ 日本遺産の推進事業については、申請時に文化庁に示した「地域活性化計画」における認定後 3 年間の国の補助金を活用した推進事業に基づき、毎年度、国に要望するものとなっている。
- ・ 申請時の内容から大きく変更した場合は、補助金の交付が見込めなくなってしまうが、国の補助規定及び新型コロナウイルスの感染拡大防止などを考慮し、事業総額は大きく変わらないものの、個々の事業の予算枠は若干変更している。
- ・ 具体的な補助事業の予算額の積算は今後の作業になるが、本日は 5 つの事業ごとの予算枠で示す。人材育成事業：予算規模 100 万円、普及啓発：予算規模 1,150 万円、調査研究事業：予算規模 400 万円、活用整備事業：予算規模 1,000 万円、情報コンテンツ作成事業：予算規模 1,300 万円。

- ・令和 5 年度日本遺産サミットの気運の醸成につなげるようなイベントを計画する必要があると考えている。

【会長】

- ・事業計画自体は認定申請時に提出しており、その内容を踏まえて国から認定されている経過があるため、大きな事業の変更はできないものとしてご理解いただきたい。
- ・国への補助金の申請に伴い具体的な事業を立案し、次回の総会では予算案として議案にしてお諮りする。

質疑等

【会長】

- ・各構成団体、各委員の主体的な提案や御質疑、ご意見があれば、また、各団体が自ら実施したいと考えていることがあればご提案いただきたい

【委員】

観光コンベンション協会の取組

- ・観光コンベンション協会では、構成文化財をいくつかに分け、令和 4 年度にバス旅行を実施する予定。
- ・ポスターコンクールの件で、読売新聞に浅川地区の児童生徒の名前が最優秀賞として載った。
- ・石森市長提案の高尾山応援基金という高尾山を快適に利用してもらうための基金が設定されている。その基金を活用した事業として、浅川地区の小・中学校の生徒に向けて高尾山についてのポスターコンクールを行った。
- ・小・中学校合わせて 230 人の応募があり、その中から最優秀賞・優秀賞・特別賞がそれぞれ選ばれた。
- ・小中学生の時代から高尾山を理解していただくことで未来への継続性をつなげていくことができたのではないかと。
- ・浅川地区に限定したが、今後はいろいろなところでポスターコンクールの作品を展示させていただく。

学園都市文化ふれあい財団の取組

- ・紙芝居について。「そうたくん」という男の子を主人公として、桑の都八王子の魅力を皆様に説明するという内容。お子様から年配の方まで楽しめるストーリーとなっている。事あるごとにどこかで紹介できればと思っている。
- ・個人的にもとても気に入ったため、紙芝居の枠を買った。いつでもどこでもこの紙芝居のセットをもってご披露できればと思っている。

- ・学園都市文化ふれあい財団は設立 20 周年を迎える。それに伴ってさまざまなイベントを企画している。イベントの折々に日本遺産の事も発信していく予定。
- ・10 月に大学コンソーシアムの全国大会が八王子市で行われる。全国から集まる大学関係者の皆様方に日本遺産の魅力を紹介する予定。

高尾山薬王院の取組

- ・本年も高尾山の山主として、各地から講演の依頼をいただいている。その際のテーマに「靈気満山 高尾山」という演題を使わせていただき、日本遺産のPRをかねて高尾山の歴史や文化などを紹介していく。
- ・3月13日、高尾山の麓にて、構成文化財の一つである火渡り祭を行う。その際には、アナウンスの中で火渡り祭が日本遺産であることを紹介するほか、ポスターなどを掲示する。
- ・また、その際に何かお配りできるようなチラシなどをいただければ、通常だとおよそ1万人近い人が集まる大行事であり、よいPRになると考えている。

八王子市商店会連合会の取組

- ・今月12日、J:COMホール八王子で「八王子あきんど祭り 2021」を開催する方向で出演者の方々とミーティングを行った。
- ・決行する予定だったが、この2日間で新型コロナウイルスの状態が芳しくないということで本日午前中に中止を決めた。
- ・また何かの形で啓発や周知を八王子市商店会連合会としても行っていこうと考えている。

【会長】

- ・協議案件について、ご意見等があれば今月いっぱい頃までに事務局へいただきたい。いただいたご意見などを参考に具体的な事業を取りまとめていきたいと考えている。

【事務局】

- ・本来では1月23日に八王子市商店会連合会主催の「八王子あきんど祭り 2021」の中で、深沢会長にご配慮いただき日本遺産をPRする時間をいただいていた。
- ・事務局として八王子車人形、八王子芸妓の出演のほか、日本遺産認定という紹介の機会をいただいていた。また、900名くらいの来場者が予定とのことで、リーフレットを配りPRできるいい機会をいただいたところだが、この度中止との判断となった。また機会があればお手伝いしたい。
- ・令和5年度日本遺産サミットの開催について。11月4・5日の2日間で開催の調整をしている。
- ・前日の11月3日が祝日であるため、11月3日に前夜祭のような形で何かイベントができればと考えている。皆様にご相談させていただき、日本遺産サミットを成功に導いていきたい。

その他 観光甲子園決勝大会について

【事務局】

- ・昨年6月の総会でも紹介した観光甲子園について。都立八王子東高等学校1年生の女子4名のチームが決勝大会出場に進出した。
- ・全国から87チームが日本遺産の部門にエントリー。19チームが予選を突破し、そのうち八王子東高等学校を含む5チームが決勝大会に進出する。12月30日の読売新聞にも掲載された。
- ・読売新聞の取材に対して、出場する高校生は「八王子の魅力を世界に発信したい」という力強いコメントをした。
- ・決勝大会に出場した女子4名は八王子にお住いの方ではないが、一生懸命取り組んでいただいている。
- ・5チームのうち優勝、準優勝の2チームが選ばれる。

【会長】

- ・観光甲子園決勝大会は2月6日。オンライン開催される。
- ・皆様にも八王子東高等学校の生徒を応援していただきたい。

【副会長】

- ・情報の発信方法については、受け手側がどう受け取っているかがすごく重要。協議会全体で心をつちにして頑張りたい。
- ・昨年わくわくフェアを開催し、桑都物語を広くPRする機会として多くの方にご協力頂いた。
- ・八王子商工会議所としてもいろいろな角度から日本遺産をPRしていきたい。

【事務局】

- ・本日、令和3年度重要無形文化財保持者及び選定保存技術保持者・保存団体認定書交付式が東京會館で行われた。
- ・当市に所在地を置き、三味線の竿と胴どうを製作している株式会社東京和楽器が、邦楽器製作技術保存会の理事長を務めており、同保存会が保存団体として認定を受けた。
- ・説経節や八王子芸妓も使う三味線は邦楽になくてはならない楽器であり、また、三味線の竿と胴どうの製作は国伝統芸能の保存、継承に欠くことのできない技術であることから国の選定保存技術に選定された。
- ・このほかにも記録選択の文化財として八王子車人形がある。3年がかりで報告書をまとめて国に提出している。市の伝統芸能や技術が全国的にも高く評価されていくことを期待している。

質疑

なし。

閉会